

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第10回 理事会

日 時：2014年 9月 24日（水）19：00～：22：00

場 所：コンセーレ

出席者：

- (理 事 長) : 村上(敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) :
(顧 問) :
(副 理 事 長) : 朝田、木村(英)、福田(之)、小瀧、須山
(専 務 理 事) :
(監 事) : 黒川、澤畑、飯野
(担 当 常 任 理 事) : 林
(全国大会招致会議議長) : 羽石
(会員拡大会議議長) : 太城
(協働連携特別会議議長) : 篠崎
(法令会計審査会議議長) :
(事 務 局 長) : 橋本
(委 員 長) : 飯沼、新妻、豊崎、木村(武)、相馬、
鈴木(善)
(副 議 長) : 宮林、渡邊、高松、山田、安野、八木、福田(弘)
(副 委 員 長) : 横島、梅田、岡田、青木

1. 開会宣言 <木村(英)>(役職名省略 以下同)
2. JCIクリード唱和 <鈴木(善)>
3. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和 <八木>
4. JC宣言朗読並びに綱領唱和 <飯沼>
5. 関東地区宣言唱和 <梅田>
6. 出席者の確認 <橋本>
出席理事名23/33名
7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>
議事録署名人：村 上 正 高
黒 川 崇
澤 畑 敦 史
飯 野 貴 道
8. 前回議事録の確認 <朝田>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>

まずは第10回理事会にお集りいただきましてありがとうございます。今日、私が一番に会場に入ったのですが、当たり前のように総務委員会の皆さんがきめ細かく設営をしているなど感じました。ちょうど来たときに深石君がマイクのチェックをしていました、ボリュームをしっかりと確認してくれていまして、ありがたいことだなと思いました。昨日ちょうど会員拡大のみなさまにご尽力をいただきまして、小田先輩のセミナーもありましたが、そこでも当たり前のことを当たり前にするというのが大切でそれをどこまで追求できるか、それが顧客満足度につながるという話をしていました。当たり前のように理事会を開催できるありがたさというのも総務委員会のおかげであります。残すところあと二ヶ月程度ですけど最後までどうぞよろしくお願いします。前回の理事会から今日までの間にたくさんの出来事がありました。まずは、関東地区大会、そして松山の全国大会がありました。出向者の話ですが、日本JCに出向いただいている皆様はこの全国大会で集大成を迎えたわけでありまして。本当に松山大会は素晴らしい大会でありましたし、理事会等もオプザーブさせていただいて梅田君が副委員長として総務委員会で設営を仕切っている姿を見て嬉しくそして誇らしく思いました。そして小瀧副理事長をはじめ全国大会運営会議で出向している山田君と八木君も凄く大変な道のりだったと思います。寝むれない日も続いたと思います。他のLOMのメンバーを協力し合っただけでしてして主管のLOMとあの大会を作り上げたということは、思い入れが残ったでありますでしょうし、本当に参加したLOMのメンバーも卒業生も良い思い出が作れたのではないかと思います。ありがとうございました。国際グループに出向している金常任をはじめ赤松委員長は来月、世界会議があります。そこまで大変であります。理事会構成メンバー中心に出向に対しては最後まで心を寄せて応援していきたいと思っております。皆様何卒、ご理解をお願いします。そして関東地区大会の件でございますが、もちろん山本顧問を会長として輩出し、須山副理事長をはじめ事務方が数多く出ています。そして会員交流委員会に船見君が総括監事として出向していて凄くご活躍してまいります。成田には空港には行ったことはありますが、街の中に行ったことはありません。みなさん大勢駆けつけ、成田山の上で式典をしました。あの場所ですることができるというのはいかに成田JCが今まで成田市、行政、地域の皆様にしっかりとコミットして運動をしたという証拠だと思っております。今回の大会をとおしてさらに市民との絆が増えまして、JCの運動が進む契機となったはずだと思います。もちろん成田空港にエクスカッションとして入れたわけでありましてから羨ましいなあと思った次第です。所信にも書かせていただきましたとおり、全国大会に向かって我々も歩みを進めているなかで、今回の成田大会と松山の全国大会を通じてやっぱりやってみようという気持ちが大きくなって参りました。誘致が実を結んだときには私は卒業していますが、シニアになってもこの街のために働いていきたいと気持ちを新たにしたいというところがございます。そしてLOMの中の話ですが、いよいよ終わりに近づいてきているわけでありまして、11月にはまちづくりサミットがあります。最近ちょっと気になっているのがメンバーの動員の部分であります。次年度がはじまって忙しい、お仕事が忙しいのもわかるのですが、是非一つひとつの事業がすべて終わって初めて今年の運動が完成できるということをもう一度ご理解いただいで理事会構成メンバーにおかれましては各メンバーにお伝えいただきたいと思っております。そして次年度の引き継ぎの部分であります。議案に引き継ぎ事項がそれぞれあります。担当した委員会にしかわからない、議案に出てこない部分がたくさんあると思っております。そういった部分を次の年にさらに運動が推進できるように是非次年度の委員長にお伝えしたいと思います。そして最後の最後まで委員長の皆様には今年お預かりしているメンバーを再度見つめてみてメンバーをどれだけ成長できたか導くことができたかもう一度振り返っていただきたいと思っております。一つご紹介したい話がありまして、昨日目にとまったところで、新妻委員長が小田先輩と名刺交換したときに自分の委員会メンバーを誘導しメンバーの紹介していただきました。すごく新妻委員長が凄く成長したと思っております。やはり自分が預

かっているメンバー一人ひとりにそういった機会を与えてあげようという委員長のつとめであるという自覚がしっかり見て取れました。すごく嬉しかったので紹介させていただきましたが、他の委員長も同じだと思います。昨日たまたま目にとまっただけの話でしたが、本当に一人ひとり大切なメンバーでありますので、そしてJCと一緒に過ごした委員会のメンバーとの絆は一生残るものですので、そういったものを大切に12月31日までお過ごしいただきたいと思います。それでは第10回理事会もしっかりとした協議をしてまいりたいと思いますのでスムーズな進行と貴重なご意見をいただきますようお願いをいたしまして冒頭の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

12. 役員報告

<八木> 昨日おこなわれました小田歴代会頭のビジネスセミナーにご参加いただきましてありがとうございました。またビジターさんにもお声掛けいただきましてありがとうございました。御礼でございます。

<横島> 10月4, 5日に伊達に御越しくございましてありがとうございました。当日雨が降りましたが大成功だと感じております。これもひとえに皆様が遠くまで御越しくございましたおかげだと思っております。ありがとうございました。

<須山> 関東地区大会におきましては、お忙しい中皆様にご登録ご参加いただきまして大変ありがとうございました。おかげさまをもちまして式典やフォーラム大成功に終わったと思えました。また式典に関しては過去にない動員をいただきましたそして本当に多くの方に最後までお残りいただきまして感謝申し上げます。関東地区の事業に関しましては11月16日の「ありがとう関東地区」をもちまして最終となります。ありがとう関東地区におきましては卒業式をメインと考えておりますので、ぜひ本年ご卒業されるメンバーの皆様は、場所が浦和、大宮となっておりますので、ご登録ご参加のほどよろしくお願い致します。

<鈴木（善）>

来る今週の土曜、日曜の二日間菊水祭がおこなわれます。本年は山車等々が出て、かなり大きなお祭りとなっておりますので、是非お時間のとれる理事構成メンバーに数多くご参加していただきたいと思いますので、25日26日の二日間集合時間が朝8時からとなっております、よろしく願いいたします。

<橋本> 明日シニア総会がございまして。出席される正副理事の皆様、時間は6時からとなっておりますのでよろしく願いします。また同日じゃがいもゴルフコンペがございまして。出席していただける方、本当にありがとうございました。明日よろしくお願い致します。

13. 審議事項

審議事項

審-01 第110回 通常総会開催報告並びに決算（案）承認の件

協議資料に基づき、飯沼委員長より上程文の読み上げ。

<村上> 橋本事務局長、何かございますか。

<橋本> 特段ございません。慎重審議よろしく申し上げます

<村上> 法令会計コメントをお願いします。

<廣田> 特段問題はございません。

<宮林> 今回の総会の議題の中に役員選任の件があったかと思いましたが、今年県の立ち入り検査がございまして、県から指摘とまではいきませんが、役員選任に関して意見が述べられまして、役員を選任は一人ひとりやった方がいいのではないと意見がございました。一人ひとりやることによって反対の意見が述べられやすいのではという指摘がありました。宇都宮 J C 役員の数が多いので特段問題はないということでしたが、県の総会に関する慎重な考え方、役員選任の考え方を踏まえますと、あまり寒いところや短期で終わるということは、あまりよくないのかと思いました。ただ地域の資源として新しい場所でやるというのはとても良かったと考えますが、環境面というのは大事なかなというのが私の意見です。

<飯沼> ありがとうございます。しっかりと取り組んでまいります。

【採決】 全会一致 審議可決

審-02 第111回通常総会 開催計画並びに予算（案）の件

協議資料に基づき、飯沼委員長より上程文の読み上げ。

<村上> 橋本事務局長、何かございますか。

<橋本> 特段ございません。慎重審議よろしく申し上げます

<村上> 法令会計コメントをお願いします。

<廣田> 特段問題ございません

【採決】 全会一致 審議可決

審-03 11月 報告事業 開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、豊崎委員長より上程分を読み上げ。

<村上> 橋本事務局長、何かございますか。

<橋本> 特段ございません。慎重審議よろしく申し上げます

- <村上> 法令会計コメントをお願いします。
- <廣田> 特段問題ございません
- <村上> 出向者の回答される人たちはみなさん伝わっているのですか？
- <豊崎> 大丈夫です。
- <木村英> 前回の常任の時に、全国大会の招致理念の資料についてこの理事会にのせると聞いていましたがその資料がないのでどうなっているのでしょうか？
- <豊崎> こちらは羽石議長と協議をさせていただきまして、まだこの時点で中途半端な形でこちらにのせるのが不適切ではないかということで判断いたしまして今回の議案にはのせませんでした。
- <村上> 羽石議長、この資料の進捗状況はいかがでしょう？
- <羽石> 理念につきましては、ただいまバージョンをあげているところでございます。また全国大会の報告につきましても、まとめている段階ですので来月の正副に間に合うような形で提出を考えております。
- <村上> 当日はしっかりとした一年間の集大成になるように会議のメンバーと力をあわせて作り上げたいと思います。
- <村上> さきほど上程時にご説明いただきました、ビデオメッセージの部分、回答者については変更を前提に審議をとりたいと思いますのでよろしくをお願いします。

【採決】 全会一致 審議可決

14.協議事項

協-01 12月総括・卒業式例会 開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、八木副議長より上程文の読み上げ。

- <飯沼> 本年の工夫と期待される効果のところにつきまして、一番と二番は去年も実施した記憶がございますので、のせなくてもいいのではないかと思います。
- <八木> 今年度の工夫と一番と二番のところについて、委員会に持ち帰らせていただき改めて議案の方見直します。
- <木村> 卒業性のスピーチが一人6分と書いてあるのですが、その後は花束を毎年渡していると思いますが、今回はなしということですか？

<八木> ご質問の内容についてはスピーチの時間は3分とさせていただき、またアテンド誘導等々の時間をみでのスケジュールとさせていただいています。ここで花束につきましては、今年の工夫のとおり、皆様からのお気持ちとしての花束贈呈に機会につきましては、例会のあとの会のほうで時間を設けておりますので予定とおりさせていただきます。

<木村(武)> スタートの時間が11時受付開始の11時半セレモニーとなっておりますが、花束というのは特別なものだと思います。その後のことはLOMメンバー一人ひとりが思いをもって卒業生に渡すというのがあると思いますが、各委員会で代表一人が花束を渡すような設えをつくって頂けませんか。卒業生にとって実際に楽しみの一つだと思います。スタートを11時にすれば各委員会から花束を渡す時間が作れるのかなという意見です。

<八木> おっしゃるとおりで、花束を受け取るという卒業生の気持ちも考えて、いったんタイムスケジュールの件も含めて委員会に持ち帰らせていただいてあらためて検討させていただきます。

<太城> 補足させていただきます。花束は拡大で用意いたしますが、渡す方はメンバーの中でゆかりの深い人などにやってもらおうと思います。また24名という人数で一人にかかる時間を考えるとすごい時間がかかります、また早めればいいという意見がありますが、会場費がさらに上乗せされてしまいますので、予算の都合上もありますのでこの設営で行いさせていただきたいと思います。

<木村(武)> 予算の問題と卒業生の人数が例年より多いから時間を短縮させるというのわかりますが、委員会でもんでいただいて2、3分でいいと思いますので、設えをもう少し考えていただければと思います。

<太城> 議論の余地はあると思いますが、たいてい卒業生3分で終わらない、10分以上話すことが多いので、かなり可能性は少ないということをご承知いただきたいと思います。後ろも決まっていますので伸ばすことができません、卒業生にスピーチも途中で切ることはできませんので、その辺りはご理解いただきたいと思います。

<安野> 3点ほど、議案のフォーマットが開かないのでご確認していただければと思います。それと式次第ですが、太城議長に議長と付け加えてください、前では2015年度となっておりますが、次は次年度理事長となっておりますのでそこも修正してあげればと思います。それと目録贈呈も上は朝田副理事長が現役代表と書いているのであれば、下は卒業生代表と付けてあげればと思います。卒業生の経歴ですが、これは間違うと大変失礼にあたるので、拡大委員会の方々はよく調べて、もし分からなければ本人にお聞きしていいと思いますので当日間違えないように気をつけていただければと思います。

<八木> フォーマットの件しっかりと訂正させていただきます。また式次第の件ですが精査してまいります。最後の件ですが、そちらも再度チェックさせていただきます。

<宮林> メンバー向けの案内文を拝見させていまして、三段目のところのそのためと

いうところがありまして組織進化を遂げながらフレッシュな目線で今後のLOMのあり方を構築していく一助となりうるはずだとありますが、組織進化とLOMのありかたはほとんど同じような感じがしまして日本語的にわからないと思いました。また、2014総括卒業式は、会員拡大会議メンバーにとっては、重要な例会設営にとってはという「は」を多用に用いるのは日本語として幼稚な気がいたしますので検討してみてください。

<八木> メンバー向けの案内文につきまして、ご指摘の部分しっかりと考えながら直していきたいと思います。

<岡田> タイムスケジュールの件ですが、催し予定の部分で5分とってありますが、予算を見させていただきますと前年に比べますとだいぶ減らされていますが、その中の予算で5分しかやらないのはちょっと短いのではないかと思います。もう少し考えていただければと思います。

<八木> 予定の件につきまして、時間の精査、中身の方をもう一度か確認しながらどれだけ時間をとれるか調べてみます。

<村上> 全体的にもうちょっと精査していただきたいのですが、案内文を見ていただきたいのですが、これは私の名前を出す文書なので、私が理事長の所信のもとにスタートしたとは書かないと思います。なので、文書については理事長になったつもりで書いてもらいたいと思います。フォーマットの体裁は総務委員会でもチェックしてください。1点だけお伝えしたいのが、例年サブライズや内緒にしている部分があると思いますが、それをあたりまえだと思わないでほしいです。それは、公益社団法人の理事会でみんなのお金を預かって審議をするわけです。40何万という予算が計上されているにも関わらず、そのことにまったく触れていない議案というのは理事会ではとおりません。最低限度、審議であげられるようなところまでは載せるべきだと思います。会員拡大会議は新人さんをお預かりしている会議ですが、新人さんが議案書にシークレットの部分があるのを当たり前だと思ってほしくないです。ほかの事業だと絶対にありえないところなので、これは卒業生の配慮の部分があるので、ただ法令会計には絶対に言わないといけません、そこはしっかり線引きしていただければと思います。

協-02 2015年度新春交流会招待者リスト（案）について

協議資料に基づき、飯沼委員長より上程文の読み上げ。 報告事項へ

14. 報告事項

報告事項

報-01 2015年度新春交流会招待者リストについて

<安野> J C関係で関東地区協議会2014年度特別顧問後藤素彦さんが2015年になっておりますので直してください。納富さんから馬場さんまで関東地区協議会になっておりますので、栃木ブロックに修正してください。

<木村(武)>だてJ Cの依頼した人数が6名のところ3名となっておりますので修正してく

ださい。

<林> 宇都宮のプロスポーツとして、栃木SC、ブレックス、ブリッツェンの名前が今年名簿から外れているのですが何か理由があるのですか？

<飯沼> すみません確認させていただきます

<鈴木(善)> 昨年に対してどこを削って増やしたのかわからないので二種類出してほしいと思います。

<飯沼> その資料を次年度が持っていると思いますのでお出しできるように致します。

<小瀧> これは報告するにはちょっと早すぎる内容だと思いますので、しっかり精査してから、お持ちいただければと思います

<村上> 気づいた点をお伝え致します。日本JCの役員は予定者の理事会にオブザーブする機会があると思いますので手渡しでお願いします。それと危ないと思ったのが、日本JC幹事の安藤公一先輩は多分理事会に欠席されると思いますので郵送すると思いますが、東京JC出身なのですが、住所が一緒なので東京JCと書かないと日本JCに行ってしまうので、そこは先方に迷惑をかけないように気をつけてください。それから須山次年度は個人的に出向等でつながっている人は呼ぶべきだと思いますので再確認していただければと思います。

報-02 年間公式スケジュールについて

ご一読ください。

報-03 2014年度カレンダーについて

<朝田> 修正されていないので、臨時理事会などが反映されていないので是非2014年度のカレンダーをきちんと修正していただきたいです。

報-04 年会費入金状況について

<宮林> 斎藤雄一さんは入金を確認できました、高久くんは振り込んでいただく約束となっております。伊澤くんは継続する意思があるということですので確実に入金してもらうようお願いをいただいております。

報-05 特別会員入金状況について

報-06 例会出欠報告について

報-07 次回開催について 11月19日(水) 19:00～

15. 監事講評

<澤畑>

まずは総務委員会の皆さん、本日も抜かりのない設営ありがとうございます。今日の理

事会は報告事項、それとさよなら例会の議案を見ても、もう2014年も終わりに近づいてきとことが伝わってきました。ただ残念だったのが、スタート時に遅刻される方や欠席した方が目立っていたと思いましたが是非とも何とか時間に会わせて来ていただければと思います。それから今日に理事会については活発な意見が出ていて良かったと思います。幹事講評とずれてしまいますが、拡大委員会のメンバーがさよなら例会に向けて一生懸命動いております。新人メンバーがJCをよくわからないまま次年度の委員会が動いており、オーバーラップしている中で大変な思いをしている人もいます。拡大委員会のメンバーを見かけましたら声をかけてあげればますますやる気が出ると思いますので、是非とも気を使ってあげて、さよなら例会に向けて応援してあげてほしいと思います。最後に年末にむけてどんどん忙しくなってくると思いますが、健康管理には充分気をつけて残り2ヶ月を突っ走していただければと思います。以上簡単ではございますが、監事講評とさせていただきます。

16. 閉会宣言

<木村>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第10回 理事会議事録
議 長：(副 理 長) 木村 英敏

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高
黒 川 崇
飯 野 貴 道
澤 畑 敦 史